



## 1 立場を変え気づき有り



ヒューマニティインブルーブ授業の様子

「社会人基礎力」の向上の一助として、「ヒューマニティインブルーブ」の授業が情報システムコース1年生を対象に実施されました。この日は、日常の立ち居振る舞いの基本の中で気を付けたいしぐさについて体験が行われていました。授業に参加した飛田美優（勝田工高卒）さんは「立場を変えることで、無意識でしているクセが、相手に不快感を与えていることに気づきました」と学びを振り返っていました。

## 2 母校に嬉しい成果報告

### 県立鹿島高等学校



後列左から 小野優羽さん、篠田大和さん、岩見恭彦さん  
前列左から 飯塚武文先生、十文字教頭

鹿島高校は、令和2年4月に附属中学校が開校し、中高一貫教育校として新たにスタートしました。母校を訪問した、小野優羽さん、篠田大和さん、岩見恭彦さんの三人は、これからの進路と資格取得について報告しました。飯塚先生からは「指導体制が充実している」、十文字教頭先生は「成長が頼もしい」と笑顔で讃えていました。

### 県立水戸農業高等学校



左から 木城恭子先生、小原大地さん、堤祐二校長

明治28年創立の歴史と伝統のある、全国でも知名度の高い農業の専門高校です。卒業生は3万人を超え各分野にわたり活躍しています。母校を訪問した小原大地さんは、校長室に案内され、堤祐二校長と当時お世話になった木城恭子先生に、進路や資格取得について報告しました。木城先生は「本当に良かった」と涙ながらに喜んで下さいました。

## 3 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

### <記事トレ> 茨城新聞(2024年10月24日) 諏訪さん「宇宙開発担う」 アルテミス計画

#### ●宮崎希輝さん(佐和高卒)

◇要約: JAXAの宇宙飛行士に認定された米田あゆさんと諏訪理さんが記者会見。アルテミス計画での月探査に参加予定である。

日本は月面探査車や月の周回軌道に設ける有人拠点の開発で貢献する。非米国人初の有人月面着陸を目指すアメリカ主導の国際計画である。

◇感想: 日本の宇宙開発における大きな一歩として、とても心強いニュースです。

月面着陸という具体的な目標があることで、子供たちの夢や希望にもつながります。

科学技術の発展と国際協力の面で、とても意義深い取り組みだと思えます。

#### ●永井海羽さん(日立商高卒)

◇感想: 宇宙飛行士になるだけでも大変なのにJAXAの宇宙飛行士になるには沢山の努力が必要だったと思う。

以前、月面探査車のレプリカを見たことがある。日本の技術が詰まった凄いものだった。宇宙に行くには技術者と宇宙飛行士のお互いのリスペクトがないと成り立たないものだった。

#### ●清水響暉さん(勝田工高卒)

◇感想: 茨城育ちの諏訪理さんが宇宙開発や日本も参加する国際月探査「アルテミス計画」を担う可能性があること知り驚いた。

私も将来宇宙開発のような、壮大な開発や設計が担えるようなシステムエンジニアになりたい。



#### ●坂本琴子さん(鹿島高卒)

◇感想: この記事を読んで、諏訪さんが語る宇宙開発への意気込みに刺激を受けた。

IT技術者を目指す私も、宇宙開発で役立つ技術を身に付けて貢献したいと感じた。宇宙船のシステムやデータ解析など、ITの力で夢の実現を支えたい。

#### ●檜山花蓮さん(水戸桜ノ牧高卒)

◇感想: 20代の女性が宇宙開発のため活動し、記者会見で「宇宙の魅力を伝えられる飛行士になりたい」と述べていて素晴らしいと思った。私も卒業までの期間、学校で意欲的に学び社会で役立つ人材になりたい。

